

まつしま

議会だより

第131号

平成29年8月1日発行
宮城県松島町議会



五大堂での観光ボランティアガイド（松島高等学校観光科）

- 8人の議員が熱弁（一般質問）…………… 2P
- 松島町防災の日を制定（議案審議）……… 11P
- 平成29年度各種会計補正予算…………… 14P
- 平成28年度政務活動費収支報告…………… 19P
- 町民の声…………… 22P

平成29年
第2回 定例会

[6月9日～6月14日]

町政Q & A

一般質問 ここが聞きたい!

8人の議員が 14件について質問

櫻井 靖 議員 (3ページ) ◆通学路は安全か
◆健康長寿の町を維持するための工夫は

赤間 幸夫 議員 (4ページ) ◆コミュニティ活動支援と防災対策の強化を
◆感染症予防対策(有害鳥獣、そ族、昆虫対策)は

色川 晴夫 議員 (5ページ) ◆新教育長に抱負を伺う

今野 章 議員 (6ページ) ◆国保税を払える保険料に
◆洪水対策、土砂災害対策は

菅野 良雄 議員 (7ページ) ◆今後の企業誘致は如何に
◆地域優良賃貸住宅の建設は
◆愛宕地区の土地利用は

高橋 幸彦 議員 (8ページ) ◆避難施設等の活用方法は

後藤 良郎 議員 (9ページ) ◆記念に残るオリジナル婚姻届を

小幡 公雄 議員 (10ページ) ◆松島町防犯指導隊の立つ位置は
◆田中川・新川のハード整備は



さくら い やすし
櫻井 靖 議員

問 通学路は安全か

答 子どもの安全を確保することに制限は設けない

問 通学路の陥没や道路の不具合、手すりやガードレールの破損などの点検はどのように行っているか。また、子どものサイズ、目の高さで確認しているか。

教育長 通学路の道路の不具合については、一斉に行うのではなく、学校行事や家庭訪問、集団下校時、教職員が通学路を通る際に随時行っている。子どもの目線での確認については、校長会で指示したい。また、幼稚園の保護者の方からも情報を収集していきたい。

問 子ども110番の家の役割は重要である。世代交代がされている家もあり、その役割を果たせなくなっているところもあると思うが、設置の更新・見直しは随時行われているか。

教育次長 26年度、27年度にかけて、新たに子ども110番の家の整備を行った。平成29年度は、更新作業を行う予定である。

問 子ども110番の家のあり方をもっと少し範囲を広げて、不審者対策だけでなく、通学途中、ケガをしたり、おなか痛くなったとき駆け込める場所にはならないか。



子ども110番の家の看板

教育長 子供の安全を確保するということが、制約を設けないということだと思ふ。青少年健全育成松島町民会の方々に話をして対応してもらえるようにお願いしたい。



メタボ対策のステッカー

問 健康診断の受診率向上対策をもっと積極的に行うことはできないか。特に、ほとんど健康診断を受けたことのない町民に対して、受診を促す方策はどのように考えているか。

健康長寿課長 受診率向上は、長年の課題である。健診が近づくくと広報等で周知をしたり、全戸配付で健診の申し込み票の中に入っているチラシを入れたり工夫しているが、なかなか伸びていない。

問 宮城県のみメタボ率は全国的に見ると上位になっている。特に40代、50代、健康づくりには関心があるが、なかなかできにくい人に対してきつかけづくりはできないか。

健康長寿課長 さまざまな教室を実施しても、男性がなかなか参加しないのが現状である。体験談等を広報等で周知して、きつかけづくりのひとつにしていきたい。

問 チャレンジデーなどスポーツイベントを開催して、町民の健康増進に努める考えはないか。

教育次長 チャレンジデーについては、年齢、性別を問わず、日常的なスポーツの習慣化を持つという意味できつかけづくりには有効であると考えている。町のスポーツ振興計画の中で、「いろいろなスポーツを取り入れる、見る、応援する」とあり、何かしら取り入れていきたい。

問

健康長寿の町を維持するための工夫は

答

受診率向上が長年の課題と考えている

問 コミュニティ活動支援と 防災対策の強化を

答 行政区と、 情報共有を行い進めていく



あか ま ゆき お 赤間 幸夫 議員

町民との対話が 必要では

問 町民に対し、土砂災害等の危険喚起、避難誘導を、平常時と緊急時とでどのようにシミュレーションしているのか。

町長 平常時は正確な知識の普及に努め、緊急時は、気象庁等から出される災害発生予測情報などに基づき速やかな避難誘導を図る等の対応を行っていく。

危機管理監 平常時は、土砂災害時に的確な避難行動をとるための正確な知識普及に努め、新たな防災マップを作成し、全戸に配付する予定である。

また、緊急時は、土砂災害警戒情報や消防団、

一般質問

住民から得られた前兆現象（異常出水など）に基づき、行政区と協力し速やかな避難誘導を行う。

問 コミュニティ活動では、高齢化や未経験者による作業低下も見られ、危険性も増しているなど行政の役割と町民の役割について話し合いの場が必要ではないか。

町長 各行政区長と常に話し合っており、本来は町がやるべきことだが行き届かない。これからも行政区との情報共有と連携を進めていきたい。



出典：国土交通省砂防部・気象庁ウェブサイトより

問

感染症予防対策（有害鳥獣、そ族・昆虫対策）は

答

衛生組合の事業として 対応いただく

期待される町の 即応姿勢

問 駆除薬品は、衛生組合の意見を踏まえ人畜無害なものと思うが、その取り扱いで被害が出たしまった場合は、どのような扱いになるのか。

総務課長 機械散布用に使用可能な液体の殺虫剤を配布しており、配布時に薬剤取り扱い業者による講習会を行い、使用上の注意を徹底している。

また、第三者に被害が出た場合には、全国町村会総合賠償補償保険の対象となり、衛生組合の役員には昨年度から適用方法などについて説明している。



問 松島海岸や磯崎、高城地区、あるいは他の住宅密集地区内に存在する水路・側溝等の公共発生源への対応で、町民から防除・防疫要請が町へ出された場合、町は速やかな対応をするのか。

総務課長 町民から防除・防疫要請が町へ出された場合でも、その地区の衛生組合の方と協力しながら対応したい。



薬剤の取り扱い確認中



お かわ はる いろ
色川晴夫 議員

問 新教育長に抱負を伺う

答 教師の指導力向上と 楽しい学校を目指す

問 「いじめ」による自死が大変な問題となっている。幸い、松島町では起きていないが、いつ起きるかわからない喫緊の課題である。また、本年度は指導主事を配置し、教職員を対象とした指導力向上に取り組みとした。そこで、新教育長に期待を込め抱負を伺う。

教育長 教育を進めるにあたり、こだわっていきたいのが3点ある。

1点は、学校は楽しくなければならぬ。これを妨げるひとつが「いじめ」であり、根絶することが一番である。「いじめ」は必ずあると認識し、道徳教育や学級活動、いじめアンケート調査と、学校の実態に応じ指導している。2点目は、教師の指導力向上に努める。子供の学力向上は教師の力量に比例すると思っ

ていることから、指導主事を配置し指導力向上に向けアドバイス出来ることになった。3点目は、幼児教育の充実である。幼稚園は3歳時から幼児教育を行っている。幼児期は体験を通じて、人間形成の基礎を養う時期である。元気力向上プログラムで5つの指針を作成し教育していく。本年度からALT2名を配置し、グローバルな子供を育てるため、英語遊びをしたい。



答弁する内海教育長

問 「いじめ」はあると答弁された。私もあると思う。その対策は。

教育長 いじめが起らないような学校の風土をつくる。また、「刺し言葉」など心に刺す言葉を慎むよう指導している。また、年間35時間の道徳の時間で、信頼、友情、思いやり、礼儀などを学ぶことで態度も変わってくる。悩ましいのが、スマートフォンで犯罪に巻き込まれる話がよくある。研修会や保護者に注意を促している。



教育委員会議

問 今年度から、ALT2名となった。幼児対象の英語遊びと、英語が正式な教科となることで、先生方への指導は。

教育長 1人は幼児対象に、英語でリズム体操やヒアリングで少しでも話せればと思う。平成32年より教科化になる。研修会などで力量を上げていく。

問 指導主事の配置は。

教育長 指導力向上、元気力向上、生徒指導、先生方の力量アップなど多岐にわたる諸問題に力を注いでもらう。

問 国保税を払える保険料に

答 県内21番目で高くはない



あきらの 今野 議員

一般質問

問 来年度からの国保運営の広域化に向け、運営方針案が示された。国保は高齢者や低所得者の加入割合が高いなど構造的な問題が指摘されている。本町も65才〜74才の加入者が7割を超え運営が厳しいが、財政主体が県になるだけで国保運営が安定するとは思えない。

町民福祉課長 各市町村の財源を県単位で運用することで、財政調整が可能となり安定的な財政運営になると考える。

問 標準保険料の試算が行われ公表している道府県もある。宮城県も公表し、県民の意見を求めるべきではないか。

町民福祉課長 試算の説明は受けているが、確定係数が国より示されておらず、現段階での公表は混乱を招くと考える。

問 案では、応益割と応能割の比率を52対48にする。これでは低所得者の負担がますます重くなる。

町長 母子、父子など低所得世帯の負担にならない対策を検討したい。

問 本町の国保は、7割以上が高齢・年金生活者で保険料は重いと思うが、払える保険料だと思うか。

町長 1人当たり保険税調定額は県内21番目で高くはない。今後も保険税抑制に力を入れたい。



問 復旧・復興事業で沿岸部でのポンプ場建設など高潮対策・洪水対策は進んでいるが、他の地域の新川、田中川、志戸内吉田川などの洪水・冠水対策の現状と今後の見通しはどうか。

建設課長 新川流域は、城内地区の東北本線から夏井橋までを平成26年に堤防かさ上げを実施、上流の居網地区は、引き続き県に要望したい。

田中川は、高城川合流部から東北本線までの区間の河川改修が計画され、上流部は、改修が一

問 洪水対策、土砂災害対策は

答 引き続き県に要望したい



2015年9月11日早朝の増水した吉田川

問 急傾斜地を含めた土砂災害危険区域は、町内に約300ある。住民の要望を聞く姿勢が大事と思うがどうか。

度完了したが、その後、麦田橋付近で浸水被害が発生し、現在、県に改修の要望を行っている。吉田川は、遮水工事、水抜きドレン設置など必要な工事は完了した。

水道事業所長 志戸内地区は、公共下水道の雨水事業として整備したい。

町長 災害対策は、早め早めの対応と情報発信にある。また、相談に来ていただけるよう関係各課に注意喚起していきたい。



おのよしお 菅野良雄 議員

一般質問

問 今後の企業誘致は如何に

答 財政的な貢献が期待できる施設を

問 東北放射光施設の誘致に至らなかった。今後の企業誘致は如何に。

町長 放射光誘致を通じ関係を築いてきた機関や東北経済連合会などの支援協力を得、研究施設や関連企業の誘致に取り組んでいく。

問 議員懇談会の説明では、メガソーラ発電施設に変更される構想であるが雇用は生まない。構想の段階であるが地元に対する経済効果はどの程度か。

企画調整課長 40メガワットの発電施設整備計画であるが、雇用にはつながりにくい。しかし、地目変更による固定資産税や償却資産を勘案すると町にとって財政的な貢献が期待できる施設と思われる。

問 明神地区の土地利用に関して企業誘致で考えていきたいと答えているが、企業名は挙がっているのか。

企画調整課長 具体的な企業名を出して県と相談しているが、企業名は差し控えてさせていただく。

問 誘致実現時の雇用はどの程度か。

企画調整課長 商業系であるが飲食関係も含め、数十人単位の雇用にはつながると思う。

問 地域優良賃貸住宅の建設は

答 可能性はまだ残っている



メガソーラの発電施設の例

問 地域優良賃貸住宅建設について、町長は、「公営住宅長寿命化計画策定に合わせて検討」、また「PFI事業で取り組むことは可能である。」と答えているが、現状は如何に。

町長 国直轄の支援業務に申し込みをしたが、市街化調整区域に整備することは難しい。PFI事業は民間事業者の参加がなかったことから、計画を進めることは困難な状況である。

問 長期総合計画作成時にしっかり検討すべきであった。地域優良賃貸住宅の建設をやめるということか。

企画調整課長 調整区域にあっても町営住宅等既存の住宅があるところは可能性がまだ残っているので実現に向けて検討していきたい。

問 愛宕地区の土地利用は

答 県と協議を進めている

問 動伝住宅を含めた愛宕地区を市街化区域に編入するため県に要望を出していくとの答弁であるが、どのような考えで編入しようとしているのか伺う。

企画調整課長 動伝住宅周辺を住居系、根廻磯崎線が国道に接続する周辺は産業系の土地利用を図る地域として協議を進めている。

問 避難施設等の活用方法は

答 今後の利用状況を見て検討していく



たか はし ゆき ひこ
高橋 幸彦 議員

一般質問

問 大震災から6年3カ月が過ぎて、町で建設を進めてきた避難施設等も石田沢防災センターを最後に、すべて完成した。今後の活用方法はどのように考えているのか。

町長 地域の状況に応じて有効利用を図っているが、有事の際に支障を来さないよう、施設の立地特性を生かしながら、有効活用を図っていく。

危機管理監 復興交付金で整備した避難施設は14施設である。区が指定管理者となつている施設は、通常は地域の行事、研修などに利用されているほか、サークル等の活動にも利用されている。町が直接管理している高城避難所は、公共交通機関が利用しやすいことと、商業施設で買い物が

できるといふことから、女性団体に多く利用されている。

石田沢防災センターは4月29日に供用開始し、広い駐車場を活用し、松島パークフェスティバル前夜祭やまつの市などのイベント開催、企業の救命講習などに利用されている。今後は、消防団や婦人防火クラブなどの訓練などのほかに、小中学生を対象とした防災キャンプ、全国高等学校総合文化祭ボランティア部門の研修、さらに産業まつりなどにも利用される。

問 石田沢防災センターのオープンが町民への周知不足で参加者が少なかったが、5月27日の松島パークフェスティバルの前夜祭と同時開催した第1回まつの市は大変な人出であった。復興交付金で建てた施設なので、商業施設などにはできないと思うが、今後の活用方法は。

副町長 石田沢防災センターは基本的には避難所であり、今ほどのように管理運営をして、経費、利用希望の問い合わせがどれくらいあるかを町として把握するために直営で行っている。

今後もさまざまな行事等でPRし、より多く使ってもらうように考えている。将来の管理運営は、今後の利用状況を見ながら検討していく。



松島パークフェスティバル前夜祭とまつの市



石田沢防災センター開所式



ごとう よしろう
後藤良郎 議員

一般質問

問 記念に残るオリジナル婚姻届を

答 松島ファンクラブへの入会を勧めたい

問 二人の心ときめく門出を祝う一つに、婚姻届がある。結婚を決めた二人の将来にわたる共同作業でもあり、結婚した後、我が町に愛着を持ち引き続き住んでいただきたい。

昨年12月22日に厚生労働省から2016年の人口動態統計の推定が発表された。データによると、2016年における日本の婚姻の件数は62万1000組であり、婚姻率は、5・02である。人口1000人に対し5組が、計算上結婚したことになる。

いま婚姻届に花を添え、記念日となるように、全国の自治体ではオリジナルの婚姻届を作成するなど、二人の門出をお祝いしている。本町の婚姻届数はどれ位か。

町民福祉課長 平成28年度で町内が42件、町外が他の市町村からの送付も含め152件である。

問 婚姻届は、松島町以外、全国どこの市町村でも提出できる。窓口に出された中で、町内、町外に分けた場合の件数はどれ位か。

町民福祉課長 平成26年度が183件、27年度が212件、28年度が194件である。



婚姻届 (一般用)

問 婚姻届は名前や住所、本籍地、証人などあるいは、大きさがA3と規定されているほかは、デザインや色などは自由である。現在、A3の様式を満たしたオリジナルの婚姻届が全国で作成されている。

例えば福島市では、祝福のメッセージを添えて写真が飾られる「しあわせ証書」と「カップルノート」を贈呈している。また、秋田の湯沢市では、当地の婚姻届を提出した

夫婦に対して、結婚お祝い品をプレゼントしながら、市の職員が結婚を祝福している例がある。

オリジナルの婚姻届は2枚複写になっている。1枚は提出用、もう1枚は記念としてお互いのメッセージを記入する欄や、届けが終った後に記念写真が貼れる、オリジナルの婚姻届が全国で普及している。本町でも是非取り組むべきであるかどうか。



オリジナル婚姻届 (見本)

町長 町としてはオリジナル婚姻届というよりも、窓口に来られた方に、松島のファンクラブに入っていたら、ファンクラブ通信を通じて、町のアピールを考えていきたい。



防犯指導隊の立つ位置は



3月開催の代表者会議で説明



お ばた きみ お
小 幡 公 雄 議員

一般質問

問 町内各地区の住民の安全を守るための活動を行っている防犯指導隊と条例化している交通安全指導員との違いは。特に、その報酬と公務災害補償の有無についてどう考えるか。

町長 交通安全指導員は非常勤特別職員となり、公務補償の対象となるが防犯指導隊は、全国町村会総合賠償補償保険制度の対象となっている。

この3月、各地区の代表者会議において、補償面の適用方法について、説明を行っている。

報酬については、活動目的が公益性が高いことから、他の同様の団体と同様に補助金の交付で支援している。

総務課長 防犯指導隊は地域の治安を維持するため、自主組織として結成されたもので、防犯ボランティア団体は、全国で4万60団体にもなる。

塩釜警察署管内の二市三町の処遇は、どの町も同じであるが、補助額は比較すると高水準にある。

問 桜渡戸・初原地区の水害は、三陸自動車道の4車線化・農地のソーラーパネル化・植林山の伐採などに伴い常襲化している。

先般、10市町村からなる江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟総会に出席の際、高城川水系は現在整備計画中と県河川課から説明を受けた。町は、支流である田中川・新川の改修など申し入れをしているか。

町長 二級河川を抱えている県内自治体が会議のあり、主に氾濫に対し県に要望等を出している。



早期実現に向け要望



田中川・新川のハード整備は

建設課長 高城川については、支流の穴川・田中川・新川も含まれている。高城川は、現在実施中の堤防整備と河床掘削。

新川は、高城川合流点の水門整備と堤防かさ上げ、田中川は、桜渡戸麦田橋付近の越水対策を要望している。



桜渡戸麦田地内から初原方面を望む（8・5豪雨）

議案 審議

11月5日が 「松島町防災の日」

平成29年第2回定例会が6月9日から14日までの6日間の会期で開催されました。
提案された内容は、陳情2件、報告6件、専決処分の承認2件、議案22件（条例の制定・一部改正、工事

委託に関する協定・工事請負契約の締結、各種会計補正予算、選任同意、議員提案）、諮問3件でした。
審議の結果、全て原案のとおり可決しました。



土のうづくり

松島町防災の日を定める条例の制定

主な内容

平成23年に発生した東日本大震災により未曾有の地震・津波被害を受けた経験と教訓を風化することなく後世に継承し、様々な災害に対する防災意識の高揚に努め、災害に対する備えを充実・強化し、安全で安心なまちづくりを推進するため、松島町防災の日を制定するもの。

質疑

赤間幸夫議員 11月5日に決めた理由は。

危機管理監 平成25年に行った町民アンケートで一番多かった。また、防災訓練の日程も考えて決定した。

澁谷秀夫議員 住民の防災意識の高揚を図るための方策は。

町長 すべてを町が行うのではなく、地域が自分たちのところは自分で守るといった意識を高め、支援していく。

色川晴夫議員 避難勧告を出しても避難する人が少ないのではないかと。

危機管理監 たしかに避難しない人が多い。防災の日の制定や、年度内に防災マップ等を作成し、

避難するという意識を高めていく。

賛成全員・可決

松島町個人情報保護条例の一部改正

主な内容

松島町個人情報保護条例で引用している行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、条ずれが生じたため、条ずれに対応する改正を行うもの。

賛成全員・可決



救護訓練

松島町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

主要内容

鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律第9条に基づき鳥獣被害対策実施隊を設置することに伴い、隊員の報酬について条例で定める必要があることから改正するもの。

質疑

赤間幸夫議員 隊員に対する報酬等はどうか。

産業観光課長 町からは隊員に支払うのは報酬のみであり、隊員に対する実費弁償分は鳥獣対策協議会から支払われ、その原資は県の鳥獣被害対策交付金である。

菅野良雄議員 ハクビシン対策は。

産業観光課長 実施隊の身分に対する補償もで



箱わな

き、実費弁償相当も支払えることになるので、箱わな等の設置活動を実施し、隊員と協議会が対応できるように県と協議していく。

色川晴夫議員 隊員が集まらなく、被害が拡大するおそれはないのか。

町長 町単独ではそのような状態になりかねない。二市三町や宮城・黒川といった広域での対応も必要となる。

賛成全員・可決



大郷町の公の施設の設置に関する協議

主要内容

松島橋工事に伴い国道45号の仮設道路が役場側へ設置されることから、駐車場内でのバスの旋回が困難となるため、松島駅前輪船前に大郷町住民バスのバス停を移設するもの。平成29年8月の移設を予定している。

質疑

櫻井靖議員 設置場所は坂道のそばであり、安全対策は十分か。

総務課長 公安委員会等と協議して決定した。

櫻井靖議員 駐輪場側の花壇を撤去して、ベンチ等を設置すべきと思うが、

総務課長 8月1日までにベンチを設置する。花壇の撤去は検討課題である。

賛成全員・可決

工事委託に関する協定の締結（仙石線松島海岸・高城町間磯崎踏切拡幅工事）

主要内容

東日本大震災復興交付金事業の避難道路整備に係る、仙石線松島海岸・高城町間踏切拡幅工事を東日本旅客鉄道株式会社仙台支社と工事委託協定を締結するもの。

協定名

仙石線松島海岸・高城町間踏切拡幅工事委託に関する協定

協定金額

1億3089万6千円

協定の相手方

仙台市の青葉区五橋一丁目1番1号
東日本旅客鉄道株式会社
仙台支社

質疑

櫻井靖議員 工期が普通の工事より長いと思うが。

建設課長 実際に工事する時間が一日約4時間しかないため、約4カ月を見込んでいます。

色川晴夫議員 住民への説明が大事ではないか。

建設課長 周知は広報誌やチラシも使って行ない、予告看板や迂回路の看板も設置する。また、夜間の工事であり、通行止めもあるので、周知と合わせて説明会等も考えたい。

今野章議員 JRとの協議の中で、一番時間を要した内容はなにか。

建設課長 通常は踏切の拡幅は行っていないということから始まったので時間がかかり、復興事業ということでも認めてもらった。さらに、拡幅の仮設通路や通行止めの問題、30年末までに2つの踏切の拡幅を完了させる調整に時間がかかった。

今野章議員 事業の主体は町であるので、JRの工事となるが積極的に監督すべきである。

建設課長 工程管理等もJRとしっかり調整する。また、工事完了検査は書類上だけでなく、現地もしっかり確認し、完了検査、履行確認となる。

副町長 協定を結んでの工事は施工協議や進捗協議等の調整会議を随時行い、また常に工程会議もしながら進めていく。

赤間幸夫議員 拡幅後の道路台帳の整備は。

建設課長 拡幅後のその年度終わりに台帳の幅員を変える予定である。JRの用地のアスファルト舗装の道路部分は、町がJRから買収する。
賛成全員・可決

工事請負契約の締結

主な内容

県の松島橋災害復旧工事に伴う、松島町公共下水道幹線汚水管渠移設工事292・6mを行うもの。

○工事名

松島町公共下水道幹線汚水管渠移設工事

○契約金額

5398万9200円

○契約の相手方

宮城郡七ヶ浜町遠山一丁目8番34号
中鉢建設株式会社東北支店



工事をしている磯崎踏切

質疑

今野章議員

中鉢建設の下水道施工の経験は。

水道事業所長

平成24年度から28年度までの県内市町村からの受注件数は15件で、約17億8000万円の完工及び完工見込である。

今野章議員

特殊技術を持つ下請業者を参加させるようだが、町の管理は大丈夫か。

水道事業所長

下請けする場合は承諾願いを町に提出する。金額等はその時に確認できる。

赤間幸夫議員

水道管の配置関係はどのような工事になるのか。

水道事業所長

工事完了後、国道歩道下の配水管は、完成後に再度発注する。

賛成全員・可決

専決処分

松島町町税条例等の一部改正

主な内容

地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律が公布されたことにより、特定配当等及び特定株主等譲渡所得金額に係る所得について所得税と異なる課税方式により個人住民税を課すこととができることを明確化したこと、平成29年4月1日から平成31年3月31日に取得された軽自動車燃費基準等により、グリーン化特例（軽課）の適用期限を2年間延長したこと、松島町復興産業集積区域における固定資産税及び都市計画税の課税免除に関する条例における適用期間を4年間延長したもの。

質疑

今野章議員

所得税と異なる課税方式により個人住民税を課すことができることを明確にしたとあるがメリットは何か。

財務課長

住民税の負担が軽減や国民健康保険税の料金が抑えられるメリットがある。

赤間幸夫議員

松島町復興産業集積区域の定義とは。

財務課長

被災を受けた地域で産業振興を図るエリアとして県の計画に位置づけられることである。

色川晴夫議員

産業集積の実績及びメリットは何か。

財務課長

実績は1件、平成32年度まで指定を受けていただければ企業側にとっては固定資産税と都市計画税が減免。企業誘致の観点から松島町にとってもメリットがある。

地方自治法で定めており、緊急時で議会を招集する時間がない場合等、予算や条例などを首長が議会の議決を経ずに自らの権限で決めること。

菅野良雄議員

課税免除される肉用牛の販売実績者数は。

財務課長

10人である。

賛成全員・可決

松島町国民健康保険条例の一部改正

主な内容

地方税法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことにより、国民健康保険税の減額の基準について5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定において被保険者の数に乗ずるべき金額を5割軽減は27万円に、2割軽減は49万円に改めるもの。

賛成全員・可決



補助金不採択などにより

4,350万円の減額

平成
29年度

各種会計補正予算

補正予算

一般会計補正予算 (第1号)

主な内容

補助の交付決定や補助の不採択に伴う事業費の補正及び4月の職員の人件費等について補正するもの。

●コミュニティ助成事業 (語り部の会) 20万円

●桜渡戸分館建設事業 800万円

●起業家・高齢者活躍の場創生事業 (△250万円) 250万円

●ディスプレイ松島プロジェクト推進事業 (△150万円) 150万円

●仙台空港二次交通対策事業 (△6466万円) 884万円

●文化観光交流館イベント事業 (△598万円) 17万円

●歴史文化基本構想策定事業 228万円 など

質疑

赤間幸夫議員 桜渡戸分館建設の流れ及び代替施設の考えは。

総務課長 今回の補正は補助対象外の設計と現施設解体の部分で、7月末から8月の補助の内示を受けて本体工事を進め、年度内に完成を目指すものである。代替施設は考えていない。



建て替えが決まった桜渡戸分館

赤間幸夫議員 地域の共有財産でもある文化財等の維持・保護が難しくなってきたが、町として手を差し伸べることはできないか。

町長 修理、修繕、保存等については、そこに関わっている方々で考えていただくのが一つであるが、今後、問題を整理する必要があると思っております。

今野章議員 予算編成時には、県や国と密な打ち合わせの上、当初予算に計上すると認識しているが、地方創生関係の交付金事業がいくつも不採択になった理由は何か。

企画調整課長 地方創生事業は採択にあまり制限がなかったが、今回、議会の議決、当初予算への位置づけが条件として申請させられた。不採択の理由について国等からの明確な答えはない。

今野章議員 仙台空港二次交通対策事業は不採択の時点で事業中止にしたにもかかわらず、単独で610万円の補助金をバス会社に出す必要性はどこにあるのか。

産業観光課長 岩手県北バスから自力運行したいと話があり、継続に当たって公共性の高いプロモーションに係る分への支援要請があった。東北の観光のため空港、町、県も続けるべき事業と考え事業費の3分の1を補助する。

岩手県北バス <http://www.iwate-kenpokubus.co.jp> 022-259-8151

バス運行のチラシ

色川晴夫議員 仙台空港からのバス事業は自主運行となるが、今後の支援や事業者の事業見通しはどうなるか。

産業観光課長 支援については、今回、運行に伴う導入経費を補助金として補正するのみであり、事業は、当初計画の平成30年度までは岩手県北バスが取り組み、その後、自立して収益を上げられるルートにしたい旨、確認している。

菅野良雄議員 予算を審査し、採択し、3カ月過ぎたら、あれもこれも減額では議会の議決の重さは全く感じられない。全部で4350万円ほどの削減。全協などでの事前説明の努力や明確な答弁ができないなど、町長は職員をしっかりと指導していただきたい。

町長 今回の事業を精査し、国の交付金が多かったことに関して、今までのようにできるだろうという思い込みがあった。そこは私の指導不足だったと痛感しており、教訓としていきたい。

澁谷秀夫議員 起業家支援事業の昨年の実績と今年度の見通しはどうか。

また、同一人が新たな起業展開で支援を受けることは可能か。

産業観光課長 28年度は3件で300万円執行、29年度は4件の申請がある。また、原則的に別法人が立ち上げれば、法人の均等割が課せるという理解で可能と考える。

賛成多数・可決

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

主な内容

職員の人事異動、共済の負担率の改正に伴う人件費等及び前期高齢者納付金の加入者一人当たりの負担調整額の改定に伴う納付金を補正するもの。

賛成全員・可決



介護保険特別会計補正予算(第1号)

主な内容

小規模多機能型居宅介護事業所への補助金及び研修旅費並びに人事異動、共済の負担率の改正に伴う人件費等を補正し、また総合事業に係る審査支払い方法の変更を行うもの。

質疑

今野章議員 総合事業の手数料を、国保団体連合会を通じて支払うことになったのは何故か。

健康長寿課長 総合事業に係る支払いについて、厚労省は国保連を通じては出来ないとしていたが、市町村の事務量が膨大になるといった要望が多く、29年1月、国保連経由を可能とする事務連絡があり、3月末に宮城県国保連合会での準備が整ったことを受け、変更をするものである。

賛成全員・可決



公売にかけられた大ケヤキ

松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1号)

主な内容

昨年10月16日に倒木した観瀾亭大ケヤキの公売に伴う財産売り払い収入を補正し、あわせて大ケヤキの加工にかかる経費を補正するもの。

質疑

櫻井靖議員 大ケヤキは、つい立てに加工し観瀾亭別室の玄関に飾る予定と聞くことだが、他の加工

品やケヤキ材の処分方法は考えなかったのか。

産業観光課長 加工品の検討は行ったが、加工代がかかるため、生かす部分と公売とで考えた。端材については、樹齢800年にあやかり、90歳以上の高齢者の方々に長寿のお箸をプレゼントできないか検討している。

賛成全員・可決



下水道事業特別会計補正予算(第1号)

主な内容

職員の人事異動及び共済組合負担金の負担率の改正に伴う人件費等について補正するもの。

賛成全員・可決

水道事業会計補正予算(第1号)

主な内容

職員の人事異動及び共済組合負担金の負担率の改正に伴う人件費等、また老朽化した浪打浜配水管の布設替え工事に要する経費を補正するもの。

賛成全員・可決

報告

繰越事業42件 内、事故繰越し14件

一般会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

他事業との調整等により、平成28年度内完了が見込めないことから、21事業を繰り越した。

質疑

色川晴夫議員 石田沢の自家発電装置の設置が遅れているのはなぜか。

総務課長 建物の工程上、一番よい時期に発注した。

赤間幸夫議員 マイナン

バー事業の繰越理由は。

町民福祉課長

総務省は平成29年度以降個人番号カードの申請者数が大幅に増加すると見込んでいる。個人番号カードの申請の増加に対する財源を確保することから繰り越した。

今野章議員

土地の筆界

未定が多いが、すべてを解決できるのか。

財務課長

相手もあることから、どうしても時間がかかる。協議をしながら解決していきたい。

松島町介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

補助対象建築物や事業者との施工時期調整に時間を要し、平成28年度内完了が見込めないことから2事業を繰り越した。

松島町観瀾亭等特別会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

観瀾亭敷地内構造物等移設・支障木伐採事業は、文化財協議に時間を要し、平成28年度内完了が見込めず繰り越した。

下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

他事業との調整及び関係事業との協議に時間を要し、平成28年度完了が見込めないことから4事業を繰り越した。

一般会計事故繰越し繰越計算書

主な内容

松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業については、昨年度繰り越した事業で、石田沢防災まちづくり拠点施設整備事業との工程調整に時間を要したものを含め、平成28年度内完了が見込めないことから11事業を繰り越した。

質疑

赤間幸夫議員

会計検査院の会計検査が県内自治体で始まっていると聞いているが、松島は対象ではなかったのか。

建設課長

一括配分ではなく基幹事業分なので、対象とはなっていない。

今野章議員

高城駅前の整備は計画どおり進められていくのか。

建設課長

高城駅前については、何件か移転しなければならぬ。内諾は受けている。JRとも協議しながら今後進めていく。

下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書

主な内容

松島地区外下水道事業については、昨年度繰り越した事業で、普賢堂及び蛇ヶ崎ポンプ場の土木工事の入札不調等も含め、平成28年度内完了が見込めないことから3事業を繰り越した。

人事

松島町農業委員会
委員
.....**同意**

松島町教育委員会
委員
.....**同意**

○林 裕志氏

61歳
(松島町磯崎)

○佐藤 実氏

67歳
(塩竈市)

○只木 幸子氏

59歳
(松島町幡谷)

○赤間 善弘氏

45歳
(松島町幡谷)

○森山 寿行氏

55歳
(松島町竹谷)

○桔梗 元子氏

69歳
(松島町高城)

○早川 節男氏

72歳
(松島町竹谷)

○雫石 和男氏

64歳
(松島町手樽)

○山崎 辰男氏

64歳
(松島町北小泉)

○阿部 良春氏

63歳
(松島町根廻)

○福田 修氏

70歳
(松島町磯崎)

○佐々木 勝義氏

59歳
(松島町竹谷)

人権擁護委員
.....**適任**

一般会計繰越明許費繰越計算書

事業名	翌年度繰越額	完了(見込)
新地方公会計整備事業	1 5 2 0万円	平成29年9月下旬
景観形成推進事業	1 0 0万円	申請取り下げ
松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業 (避難場所:三十刈地区)	2 6 2 9万円	平成29年9月下旬
松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業 (避難場所:石田沢地区)	2 2 5 万2千円	平成29年9月下旬
自家発電装置整備事業	3 0 5 2万7千円	平成29年8月下旬
番号制度(マイナンバー)導入事業	1 1 4万円	平成30年3月下旬
臨時福祉給付金給付事業(経済対策分)	2 3 0 5万9千円	平成30年3月下旬
漁港海岸・海岸保全施設築造事業	1 億1 6 7 8万5千円	平成30年3月下旬
瑞巖寺総門公衆トイレ整備事業	1 9 3 5万1千円	平成29年7月下旬
トンネル補修事業	3 5 8 1万円	平成29年6月下旬
松島地区避難路整備事業	6 5 7 2万円	平成30年3月下旬
高城・磯崎地区避難路整備事業	2 0 3 0万円	平成29年9月下旬
町道上竹谷・高城線外11路線道路整備事業	2 5 3 0万円	平成29年9月下旬
町道手樽・富山駅線道路整備事業	2 億2 2 1 万2千円	平成30年3月下旬
手樽柿ノ浦地区避難道路整備事業	6 2 9 2万5千円	平成30年3月下旬
根廻磯崎線道路整備事業(根廻地区)	2 億4 9 8 3万9千円	平成30年3月下旬
耐震対策緊急促進事業	9 6 8 5万2千円	平成29年7月下旬
消防施設整備事業	3 4 6 4万4千円	平成29年8月下旬
中学校屋外運動場環境整備事業	3 7 0 6万1千円	平成30年1月下旬
漁港施設災害復旧事業	1 億7 0 5 5万円8千円	平成30年3月下旬
公共土木施設災害復旧事業	9 7 2 7万7千円	平成30年3月下旬

介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書

地域医療介護総合確保事業	3 2 0 0万円	平成29年9月下旬
地域介護・福祉空間整備等施設整備事業	5 3 万6千円	平成29年6月下旬

観瀾亭等特別会計繰越明許費繰越計算書

観瀾亭敷地内構造物等移設・支障木伐採事業	2 3 4 2万8千円	平成29年7月下旬
----------------------	-------------	-----------

下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

松島幹線污水管渠移設事業	4 億6 4 4 4万円	平成30年3月下旬
松島町公共下水道愛宕地内枝線工事	2 1 0 9万2千円	平成29年4月完了
松島地区外下水道事業	7 億1 3 3 0万円	平成30年3月下旬
公共下水道施設災害復旧事業	7 億8 4 3 5万7千円	平成30年3月下旬

一般会計事故繰越し繰越計算書

松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業	9 4 3 万6千円	平成29年4月完了
松島地区等避難施設整備事業	2 1 9 万6千円	平成29年4月完了
松島地区復興まちづくり拠点施設整備事業	1 7 0万円	平成29年4月完了
備蓄倉庫整備事業	9 6 6 万2千円	平成29年4月完了
漁業集落防災機能強化事業(手樽地区)	2, 3 7 2 万8千円	平成29年8月下旬
漁港海岸・海岸保全施設築造事業	1 億9 7 6 4万円	平成30年3月下旬
松島地区避難路整備事業	3 1 8 6万3千円	平成30年3月下旬
町道上竹谷・高城線外11路線道路整備事業	1 億5 1 2 9万8千円	平成30年3月下旬
手樽字柿ノ浦地区避難道路整備事業	9 0 1 2万円	平成30年3月下旬
漁港施設災害復旧事業	4 億9 5 2 2万9千円	平成30年3月下旬
公共土木施設災害復旧事業	2 億9 8 0 9万円	平成30年3月下旬

下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書

松島地区外下水道事業	4 9 9 2万4千円	平成30年3月下旬
松島地区外内水対策事業	9 0 8 0万円	平成29年9月下旬
公共下水道施設災害復旧事業	5 億7 8 1 4万円	平成30年3月下旬

皆さんからの

請願・陳情

宮城県国民健康保険運営方針案に係る意見書採択についての陳情

.....第2常任委員会へ付託

《趣旨》

2018年4月からの国民健康保険都道府県単位化に向けて、厚生労働省は昨年10月に事業費納付金及び標準保険料率の簡易計算システムを都道府県に配布し、未だその資産内容が明らかにされず、各市町村は来年の保険料がどうなるのかさえ議論できない状況となっている。

保険料がどうなるのかということは、被保険者にとって暮らしを左右する大変重要な問題であり、各市町村には低所得者の保険料を軽減するなど地域の実情に応じて制度を定めてきた歴史があるにも関わらず、いまだ具体的な数字が出されず何の説明もありません。国民健康保険事業方針だけが決定されようとしている。つきましては、宮城県に対し、左記のとおり実施することを求めるよう陳情する。

記

- 1 事業費納付金・標準保険料試算を一刻も早く公表すること。
- 2 2018年以降も、現在以上に保険料（税）を上げないこと。
- 3 準備が整わないまま拙速な実施はせず、場合によっては延期も検討すること。
- 4 国に対し、国民健康保険のための安定的な運営のため、十分な財政措置を求めること。

〔陳情者〕 塩釜地域社会保障推進協議会

代表幹事 内藤 孝
代表幹事 齊藤 規夫
代表幹事 虎川 太郎
代表幹事 太田 政興
代表幹事 福岡 真哉

就学援助の拡充と運営の見直しを求める陳情

.....第2常任委員会へ付託

《趣旨》

長らく続く景気低迷の経済状況下において、企業の労働コスト削減及び弾力化のニーズにより、非正規雇用者が増加したことに伴い貧困・格差が拡大している。このことにより児童生徒にとって、本来、夢と希望をもたらす入学やかけがえのない行事が、「ランドセルが変えない」、「学生服が買えない」、「修学旅行費が払えない」など、心を痛める事態になっている。

このような事態に際し、国は平成29年度予算において、「新入学児童生徒学用品費等」をはじめ、予算単価等の一部見直しを行った。また、中学校等だけでなく、小学校等についても、入学する年度の開始前に支給した「新入学児童生徒学用品費等」を国庫補助対象に出来るよう「要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱」の一部改正をした。市町村においては、見直し等の趣旨を踏まえ、援助が必要な児童生徒等の保護者に対し、必要な援助が適切な時期に実施することが求められており、松島町の就学援助について、左記の改善が図られるよう陳情する。

記

- 1 通知の趣旨に沿って、新入学児童生徒学用品費等を増額し、入学年度開始前の支給を実施すること。
- 2 また、行事費等の前払いを行うこと。
- 3 主要保護児童生徒に対する就学援助についても、新入学児童生徒学用品費等を増額し、入学年度開始前の支給を実施すること。また、行事費等の前払いを行うこと。

〔陳情者〕 民主教育をすすめる宮城の会代表 太田直

補助対象経費の追加や補助金の額の増額など、要保護児童生徒及び主要保護児童生徒の就学援助額を引き上げること。

議員意見書 提出

日本政府に核兵器禁止条約のため行動を求める意見書

《趣旨》

広島・長崎への原爆投下から70余年を経て、「核兵器のない世界」を求める流れは、いま歴史的局面を迎えている。

核兵器禁止条約が実現すれば、初めて核兵器の違法性が確立され、核兵器の全面廃絶への新たな道が開かれる。この筋道こそ、「私たちが生きていくうちに核兵器をなくしてほしい」との被爆者、日本国民の長年の願いに込めるものである。

我々の世界は、多くの挑戦・努力（経済発展、文化・科学の発展等々）をしている。これらは、すべて人間の生命が引き続き存在し続けるという仮定を前提としており、核戦争の結果としての人類絶滅を阻止することこそすべての努力の前提条件である。いま、世界の動きはまさに正気を取り戻し、理性の力を発揮しつつある。

よって、日本政府においては、広島・長崎の原爆を経験し、核兵器の非人道性を最も知っている国として、国連の交渉会議に出席し核兵器禁止条約の実現のために積極的な役割を発揮されることを強く要望する。

【提出先】

内閣総理大臣
総務大臣
外務大臣

賛成全員・可決

平成29年第2回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※片山正弘議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決 月日	採決 結果	澁谷 秀夫	赤間 幸夫	櫻井 靖	後藤 良郎	小幡 公雄	高橋 幸彦	今野 章	太齋 雅一	色川 晴夫	菅野 良雄	高橋 利典	阿部 幸夫	片山 正弘	賛 成	反 対
議案第47号	専決処分の承認を求めることについて(松島町町税条例等の一部改正)	6月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0
議案第48号	専決処分の承認を求めることについて(松島町国民健康保険条例の一部改正)	6月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0
議案第49号	松島町防災の日を定める条例の制定について	6月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0
議案第50号	松島町個人情報保護条例の一部改正について	6月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0
議案第51号	松島町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	6月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0
議案第52号	大郷町の公の施設の設置に関する協議について	6月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0
議案第53号	工事委託に関する協定の締結について【仙石線松島海岸・高城町間磯崎踏切拡幅工事】	6月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0
議案第54号	工事請負契約の締結について【松島町公共下水道幹線汚水管渠移設工事】	6月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0
議案第55号	平成29年度松島町一般会計補正予算(第1号)について	6月12日	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	×	○	○	○	○	9	2
議案第56号	平成29年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	6月12日	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	11	0
議案第57号	平成29年度松島町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	6月12日	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	11	0
議案第58号	平成29年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1号)について	6月12日	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	11	0
議案第59号	平成29年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	6月12日	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	11	0
議案第60号	平成29年度松島町水道事業会計補正予算(第1号)について	6月12日	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	11	0
議案第61号	松島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月9日	○														12	0
議案第62号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月9日	○														12	0
議案第63号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月9日	○														12	0
議案第64号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月9日	○														12	0
議案第65号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月9日	○														12	0
議案第66号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月9日	○														12	0
議案第67号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月9日	○														12	0
議案第68号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月9日	○														12	0
議案第69号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月9日	○														12	0
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	6月9日	○														0	0
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	6月9日	○														0	0
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	6月9日	○														0	0
議員提案第4号	日本政府に核兵器禁止条約のための行動を求める意見書について	6月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0

平成28年度 政務活動費収支報告

一人あたり月額7,000円、年間84,000円 余剰金は町に返還します。

会派(議員)名	代表者名	所属議員名	交付額	支 出	残額(返還額)
新生クラブ	高橋幸彦	高橋 幸彦 澁谷 秀夫 阿部 幸夫	252,000円	92,870円	159,130円
			4月~3月 7,000円×12ヶ月×3名	研修費 65,474円 資料購入費 27,396円	
日本共産党	今野章	今野章	84,000円	61,752円	22,248円
			4月~3月 7,000円×12ヶ月×1名	調査研究費 21,800円 研修費 1,000円 資料購入費 25,944円 事務費 13,008円	
公明党	後藤良郎	後藤良郎	84,000円	86,748円	△ 2,748円
			4月~3月 7,000円×12ヶ月×1名	調査研究費 21,800円 研修費 61,212円 資料購入費 2,721円 事務費 1,015円	
町民クラブ	太齋雅一	太齋 雅一 色川 晴夫	168,000円	107,830円	60,170円
			4月~3月 7,000円×12ヶ月×2名	研修費 89,782円 資料購入費 18,048円	
松政クラブ	高橋利典	高橋 利典 櫻井 靖 片山 正弘	252,000円	304,582円	△ 52,582円
			4月~3月 7,000円×12ヶ月×3名	研修費 269,347円 資料購入費 35,235円	
政務活動費(会派分)小計			840,000円	653,782円 598,452円	241,548円
赤間幸夫			84,000円	46,756円	37,244円
			4月~3月 7,000円×12ヶ月×1名	研修費 37,732円 資料購入費 9,024円	
小幡公雄			84,000円	12,523円	71,477円
			4月~3月 7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 12,523円	
菅野良雄			84,000円	30,542円	53,458円
			4月~3月 7,000円×12ヶ月×1名	研修費 5,800円 資料購入費 24,742円	
政務活動費(議員分)小計			252,000円	89,821円 89,821円	162,179円
合 計			1,092,000円	743,603円 688,273円	403,727円

※『公明党』『松政クラブ』の残額(返還額)については、交付額よりも支出額が多いため交付額により算出

一般会議 区長会との意見交換会

平成29年度議会報告会の開催に先立ち、平成29年5月14日行政区長会と意見交換会を行った。

まず、各常任委員会委員長より議会報告会のテーマ（第1常任委員会「地域防災の現状と課題について」、第2常任委員会「少子化対策について」）について説明し、質疑を受けた。その中で議会報告会では、できる

限り説明はコンパクトにして、参加者の発言時間を長くしてほしいとの要望が出された。

次に、各区長から行政施策に対する地域の要望事項として、「不審者対策」「高城駅前の放置自転車対策」「人口減少対策」等についての意見が出され、活発な意見交換会となった。

区長会出席者

- 濱田 敏幸 様 (本郷区長)
- 樋口 秀吉 様 (手樽区長)
- 蜂谷 雅美 様 (松島区長)
- 水間 邦夫 様 (高城区長)
- 石田 堅 様 (磯崎区長)
- 阿部 文明 様 (北小泉区長)
- 森山 明寛 様 (下竹谷区長)
- 早川 節男 様 (上竹谷区長)
- 阿部 隆一 様 (幡谷区長)
- 片倉誠之助 様 (根廻区長)
- 赤間 博明 様 (初原副区長)
- 内海 博之 様 (桜渡戸区長)



区長会との意見交換会

研修レポート

一般会議・研修レポート

多くの町民に読んでいただける「議会広報誌づくり」を目指した研修のため視察研修を行った。

福島県鮫川村は平成28年度に全国町村議長会での、広報コンクールにおいて奨励賞を受賞し、紙面を通じて「村民の参画」をもとに「議会への関心」を高める唯一の手段として、「村民に読んでいただける広報誌」を目標としている。

◎研修内容

議会だより編集委員6名で、ページの割り付け、レイアウト等を決定し、粗原稿の作成、1次校正まで行う。

編集作業についての特色は①一般質問が施策に反映されているかを追跡調査し、追加調査として掲載する。②紙面上に村民が参加できる場所をつくり、シリーズ化。③議会モニター及び傍聴人感想の掲載④表紙の題字及び議員の似顔絵を子ども達に描いてもらい掲載⑤村出身者の寄稿。

(所感)

鮫川村広報の特徴は、編集マニュアルに基づき広く村民に「議会運営」を公開し、わかりやすい広報誌及び紙面を通じて「村民の

議会広報発行対策特別委員会 福島県鮫川村

参画」と「議会への関心」という編集が行われている。

今回の研修の中で、私たち委員会の取り組む課題は、広報発行前の準備を進める中で、しっかりとした方針を立て、「村民に読んでいただける広報誌」を目標に、村民に対し、「議会への関心」を高める、広報誌になるよう努力する決意が生まれた。



鮫川村視察研修

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合議会

平成29年3月21日、平成29年第1回塩釜地区消防事務組合議会定例会が開催された。

行政報告として、平成28年度管内の火災件数は、45件（前年比45.2%増）、

このうち松島分は3件の発生。緊急出動件数は8768件（前年比5.7%増）、そのうち松島分は967件出動している。

要介護認定審査状況は、273回の審査会が開催され、8167件の審査が行われた。障害者支援区分に係る審査判定状況は、20回の審査会が開催され、207件の審査が行われた。塩釜地区環境センター業務実績は、

し尿及び浄化槽汚泥の搬入総量は、9021トン。塩竈斎場利用実績は、2099件と報告された。

付議事件は、平成29年度塩釜地区消防事務組合

予算ほか5件で、全て原案通り可決された。

平成29年度一般会計の予算総額は22億2632万円、介護認定審査事業特別会計予算は1億3809万円、障害者支援区分審査事業特別会計予算は355万、環境事業特別会計予算は、6億3464万円である。

高橋利典 議員
赤間幸夫 議員

宮城東部衛生処理組合議会

平成29年3月28日、平成29年第1回宮城東部衛生処理組合議会定例会が開催された。

行政報告として、ごみの搬入状況および各施設の運転状況について説明があり、定期的に測定しているダイオキシン類濃度測定結果および放射性物質濃度の各測定結果は、

不検出または基準値内であり施設等は良好に稼働

している。また、塩竈市のとの相互援助協定に基づき、塩竈市の焼却炉の定期整備に伴う生活系可燃ごみ857トンを受託し焼却処分したとの報告があった。

付議事件は、平成29年度東部衛生処理組合予算ほか2件で、全て原案通り可決された。平成29年度当初予算の総額は、8億9900万円となっており、歳入の主たるものは、構成市町の負担金で総額が8億6478万円

で、松島町のごみ処理費負担金は1億533円である。歳出の主なものについては、人件費や公債費など義務的経費が2億2301万円、施設の維持管理・運転などの物件費が4億4921万円、維持補修費が1億5872万円である。

後藤良郎 議員
今野章 議員

議会活動

◆主な活動内容

- ・ 3月10日 第70回松島中学校卒業証書授与式
- ・ 3月16日 平成28年度町内各幼稚園卒園式
- ・ 3月17日 平成28年度町内各小学校卒業式
- ・ 3月18日 平成28年度町内各保育所修了式
- ・ 4月11日 平成29年度町内各幼稚園入園式・小学校入学式
- ・ 4月29日 松島中学校入学式
- ・ 5月20日 石田沢防災センター開所式
- ・ 6月4日 平成29年度町内各小学校運動会
- ・ 6月16日 第57回町民ふれあいスポーツ大会
- ・ 6月16日 二子屋浄水場安全祈願祭

以上のとおり、3月・4月は町内各保育所・幼稚園・小学校・中学校の卒業式、入学式が行われるので、各議員はそれぞれの地区の式に出席しました。

また、第1回定例会後には、各常任委員、議会運営委員会、特別委員会。第10回議会報告会に向けた班長等会議が開催されました。



二子屋浄水場安全祈願祭

町民の声



齋藤 文雄さん
(下竹谷)

東部地域交流センターを 発信源に

私の住んでいる下竹谷地区では、子供達が減少する中、北小泉の子供達と共に、和太鼓を通して、地域活性化と健全育成、及び地域の伝統を継承する目的に、東部地域交流センターにて、『和合太鼓』の練習を指導しています。事業としては、松島町内外の発表会や、イベント、介護施設の慰問等を行っています。

また、「いちよの会」を発足し、会員として、東部地域交流センターにて、そば作り教室や陶芸

教室などを開催し、下竹谷、北小泉区民や、松島町内の住民の方々も参加して頂き、親睦を深めています。

今後は、より良き地域活動を目指すため、松島町や町議会の皆様に御指導を頂き、行政、分館と共に、地域の高齢者を始め、多くの方々が参加出来る事業を進めていければと思いますので宜しくお願い致します。

議会報告会

第1班



第2班



第3班



平成29年度議会報告会に多くの皆さまにご参集いただきありがとうございました。

表紙を飾られた、皆さんからのメッセージ

宮城県松島高等学校観光科

この度は、まつしま議会だよりに掲載していただきありがとうございます。
松島高校は、観光科の授業に「観光ボランティアガイド」の実習があります。
表紙の写真は、今年の5月8日、北海道の中学生の皆さんが修学旅行で松島町内を訪れた際に、私たちがボランティアガイドを行った様子です。
当日は、松島海岸船着き場付近から五大堂、観瀾亭、瑞巖寺を案内し、町の文化財を解説しました。中学生の皆さんには、よろこんでいただけたと思います。
私たちは、この実習を通して、松島町をよく知るとともに、地域に貢献できる力を身に付けたいと思っています。

次回9月の定例会は

9月1日

開催予定です。
ぜひ、傍聴においで下さい。



編集後記

町民の皆様への関心が高い、石田沢防災センターが4月29日に開所するなど、新しいまちづくりが急ピッチで行なわれているところでもあります。

そんな中で、6月定例会に提案された議案についても審議結果、可決という方向で決せられました。

広報委員会として9月の定例会が最後の「議会だより」の編集時期に入ります。この2年間、町民の皆さんと議会活動を「議会だより」発行を通して、懸け橋となるよう、手作りの編集やレイアウト等を必死に取り組んできました。

今後共、多くの町民の方々にご拝読されることを願っております。

(阿部幸夫)

議会広報発行対策特別委員会

- 委員長 阿部 幸夫
- 副委員長 櫻井 靖
- 委員 赤間 幸夫
- 後藤 良郎
- 高橋 幸彦
- 今野 章